

令和7年度石と賢治のミュージアム運営委員会会議録

- 1 会議名 令和7年度石と賢治のミュージアム運営委員会
- 2 開催日時 令和7年4月18日（金）午前10時から午前11時15分まで
- 3 開催場所 石と賢治のミュージアム
- 4 出席者
 - (1) 委員 佐々木賢治委員（委員長）、山崎幸一委員、佐藤郁子委員、岩越裕史委員、山崎一委員、吉田美和子委員、佐藤美枝委員、鈴木正敏委員、鈴木加代子委員
 - (2) 事務局 菅原淳石と賢治のミュージアム館長、菊地利江石と賢治のミュージアム副館長
- 5 議題
 - (1) 令和6年度石と賢治のミュージアム事業報告
 - ア 令和6年度自主事業等事業報告
 - イ 令和6年度入館者数
 - (2) 令和7年度石と賢治のミュージアム事業計画（案）
 - ア 令和7年度自主事業等事業計画（案）
 - (3) その他
- 6 公開、非公開の別 公開
- 7 傍聴者 なし
- 8 挨拶
館長

運営委員の皆様から広くご意見を頂戴して、今年度の運営に反映してまいりたいと思いますので、本日はよろしく願いいたします。

9 審議内容

- (1) 令和6年度石と賢治のミュージアム事業報告及び(2)令和7年度石と賢治のミュージアム事業計画（案）について

事務局から資料に基づき説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 資料2 ページ目の化石採集代替地整備があるが、石の搬入は時々行っているのか。

事務局 令和6年度は、整備時の搬入を行った。数年に1回の運搬を想定していたが、利用者が多く3割から4割ほど減ったため、今年度の運搬を考えている。

委員長 外国人観光客はゆっくりと滞在する方が多い。東山で狛鼻溪、幽玄洞、石と

賢治のミュージアムをゆっくり観光していただけるよう、引き続き情報発信をお願いしたい。

事務局 オール東山で連携と情報共有に努めていく。

委員 環境整備について、どのような場所を整備しているか。

事務局 老朽化した箇所や安全対策が必要な箇所を優先的に行っている。

委員 グスコーブドリの大学校の参加者層について教えてほしい。

事務局 高齢の方が比較的多いが、最近では仲間同士の参加もある。市内や地元の方が4割、市外の方が6割程度。市外の方に東山や一関のことを知っていただく機会にもなっている。

委員 冬期間の群像広場の覆いについて、景観的に外すことはできないか。

事務局 劣化防止対策として行っている。劣化の一番の原因は雪害で、冬期間覆いをすることで、塗装塗り替えや支柱の保全が5年は延びると教わり、維持に努めている。景観的にはご指摘のとおりだが、改修費用にかなりの金額を要することからご理解賜りたい。春から秋にかけては、来館者に写真スポットとしてご活用いただけるようPRに努める。

委員 「グスコーブドリ学園」は、小中学校の児童生徒を対象とした事業で本当に新鮮だと思う。こどもたちが成長したとき、自分の地域を自慢できるような勉強を毎年続けていくことは大きな意味がある。是非続けていただきたい。

10 担当課 石と賢治のミュージアム